

特集

「復興の絆」深める支援活動



陸前高田へ60人が結集

「復興の絆」を深めようと、陸前高田市横田中学校仮設住宅で7月に続く2回目の支援活動が10月16日に行われました。深澤晟雄の会の呼びかけに、小中高校生を含む60人余りのボランティアが結集しました。

本会の活動に賛同して町外からも駆けつけました。盛岡市の「鮪処なか井」の中井隆二さん夫妻は百人分のお寿司を握ってくれました。二戸市の高村人司さんは野外ステージ用の音響機器を無償提供、イベント終了まで機

器の操作を担当しました。また、同じ津波被災地の宮城県気仙沼市消防署の菊田吉男さんは、署員の仲間たちとサンマを持参、塩焼きで旬の味を提供しました。西和賀町からはカジカ組合がイワナの塩焼きを、女性グループのキノコ汁や漬物にご飯の炊き出しも11時

半の昼食時間に間に合わせました。また、3人の床屋さんは髪のカットを、鍼灸師の深澤豊さ【写真上】「深澤晟雄の会」ののぼり旗を入口に仮設住宅街に設置されたテント村【写真下】④準備完了の炊き出し班 ⑤かじか組合のイワナの塩焼き

んは体ほぐしなど、それぞれ15人ほどをさばき、昼食抜きで頑張りぬきました。朝からの雨も9時ごろから尻上がりになり、活動も順調に進みました。寿司や魚の塩焼き、キノコ汁など準備した百食分はすべて売食する盛況ぶりでした。

11月の「いのちの山河」上映情報

- 3日 岡山県備前市民センター
- 4日 広島市神石高原町交流センター
- 6日 岡山県瀬戸内市保健福祉センター
- 11日 広島市中区アステールプラザ
- 13日 岡山県西大寺緑化公園百花プラザ
- 20日 同 和気町総合福祉センター

上映会場近くの知人・友人に
知らせてあげましょう。

西和賀文化で繋ぐ



【写真右側】④深澤晟雄の会さくら組
 ⑥坂本神楽の災厄を払う獅子頭で咬んでもらう皆さん ⑦「沢内さんさ」で絆の輪
 【写真左側】④舞台を見入る皆さん
 ⑥沢内太鼓百年座員で小学5年の2人

山と海との一体感Ⅱ絆



「沢内さんさ」でフィナーレ

「西和賀のパワーを感じた」「復興への元気と勇気をもたらした」などの感想が聞かれた舞台部門は、出演者も「客席との一体感をこれほど強く感じたことはない」と興奮気味に語ります。

「復興の絆」をテーマにした今回の支援活動は、会場となった横田中学校の畠山校長先生自ら立ち会っての学校開放、旧沢内村時代の保健師・千田和可さん、仮設住宅の吉田区長さんの三者連携が功を奏して、その目的を十分に達成できたことに厚く感謝します。

中学校の生徒の昇降口が恰好の野外ステージとなつて、沢内太鼓百年座の太鼓

演奏「清流」で開幕。深澤晟雄の会さくら組は、昔懐かしい長編歌謡浪曲「俵屋玄蕃」や「九段の母」など。特に今年83歳の小笠原一夫さんの年齢を感じさせない舞姿に拍手喝采でした。

坂本神楽の獅子舞は縁起ものとあつて獅子頭に咬んでもらつて、すべての災厄を払おうと住民の行列ができました。

沢内太鼓百年座が「絆」を力強く演奏。その演奏から「沢内さんさ」の太鼓に移行、高橋昭士さん、八京俊一さんの唄に乗せて、会場一杯に沢内さんさの輪踊りは「復興の絆」を確かめ合うフィナーレとなりました。

資料館に 金一封

西和賀町沢内字太田 小山勝子様
 東京都板橋区 亀山全弘様
 同 中村照子様
 神奈川県横浜市 高橋勝也様